

令和4年度第1回古賀市総合政策検証会議 議事要旨

【開催概要】

開催日時：令和4年8月26日(金) 19:00～21:00

開催場所：古賀市役所501～503会議室

出席者：

(委員) 大庭委員、佐竹委員、橘委員、豊貞委員、伴委員、藤井委員、文屋委員、南委員、宮原委員、山田委員、清水委員、松見委員、三戸委員

(事務局) 田辺市長、横田副市長、総務部長、保健福祉部長、市民部長、教育部長、経営戦略課長、参事補佐兼経営戦略係長、経営戦略係員

【議事・要旨】

1. 市長あいさつ	
2. 総合政策検証会議について	事務局：資料1に基づき説明
3. 委嘱書の交付	事務局：説明（任期は令和4年8月26日から令和6年8月25日まで）
4. 委員紹介	事務局：資料2に基づき説明
5. 委員長及び副委員長の選出	委員長に南博委員、副委員長に豊貞佳奈子委員を選出
6. 会議の運営について	(1) 古賀市総合政策検証会議運営細則（案）
	事務局：資料3、資料4に基づき説明
	(2) 古賀市総合政策検証会議傍聴規程（案）
	事務局：資料5に基づき説明 委員：了承
7. 報告事項	(1) 第4次総合振興計画（後期基本計画）の検証結果
	事務局：資料6、資料7に基づき説明 <委員からの質問事項> ・総括として、どのようにとらえているか。 →（回答）指標によっては景気の動向に左右されるものもあり、必ずしも市の取組だけでコントロールできるものではなかった。指標の設定そのものが適していたのかどうか、反省材料としてある。反省を踏まえ、第5次総合計画では指標の設定を行っている。 総括として、取組はきちんと取り組めたが、指標という部分に結びつかないものもあった。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で達成できなかった部分も多々あるのではないか。 →（回答）新型コロナウイルス感染症の影響は多くあったと考えており、その影響中には達成できなかったものもある。新型コロナウイルス感染症の影響を受けたあとの社会に対して古賀市としてどういう取組をしていくかが大事。指標の結果だけ

	でなくどのように取り組んでいくか整理していきたい。
8. 審議事項	<p>(1) 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和2～6年度） 令和3年度実績に関する検証</p> <p>事務局：資料8、資料9、資料12-1、資料12-2に基づき説明 <委員からの質問事項> （基本目標I. しごとの創生）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的政策(3)「農林業の活性化と持続可能な発展」の「新規就農支援制度を利用した就農者数」について 実績の3人はどういった方か。 →（回答）令和2年度からの実績については、市外からの転入者が多い。それ以前は実家の家業をつぐ後継者が多かった。最近は今まで全く農業をしていなかったが、どこかで農業をしたいということで、古賀を選ばれている方が多い。 ・基本的政策(2)「企業誘致の推進」について 施策の評価及び今後の方針のR2年度実績に企業からの問合せが多いとあるが、どういった企業からの問合せが多いか。 →（回答）交通の利便性や土地が広いといった観点から、物流、運輸業の問合せが多い。また、土地利用転換を進めていることから、製造業からの問合せもある。 ・基本的政策(2)「企業誘致の推進」について 施策の評価及び今後の方針のR3年度実績の新規立地2件はどういった企業か。 →（回答）いずれも物流・倉庫業を営む企業。 ・基本的政策(1)「地域産業の振興と競争力の強化」の「新規創業支援件数」について 件数は相談を受けた件数か、実現した件数か。相談の件数の場合、そのうち何件くらいが実現したのか。 →（回答）相談を含めたサポートをした件数を計上。商工会から認定を受けた件数は59件であり、概ね50%程度。 ・基本的政策(3)「農林業の活性化と持続可能な発展」の「新規就農支援制度を利用した就農者数」について R2の実績値1人だが、施策の評価及び今後の方針のR2年度実績の記載内容では、どれに該当するか。 →（回答）施策では①に関連する部分であり、R3年度実績では農業次世代人材投資資金を活用した認定新規就農者が3人、R2年度では1人いたということである。今後、指標の記載と実績の記載は分かりやすい形で書いていきたい。 ・基本的政策(2)「企業誘致の推進」の「企業誘致を目的とした土地利用転換の件数」について

R3 年度の実績 1 件と、施策の評価及び今後の方針の R3 年度実績の新規立地 2 件はどのような関係か。

→ (回答) 「企業誘致を目的とした土地利用転換の件数」は企業立地をしてもらうために面的整備をした件数であり、新規立地とは別である。

・ 基本的政策(4) 「魅力的な就業環境と担い手の確保」について
移住支援金について、どのくらいの問合せがあったか。

→ (回答) 令和 3 年度は 1 件。令和 4 年度は現時点で 3 世帯に交付予定。もう 1 件希望を頂いており、今年度中に 5 世帯となる見込み。

(基本目標Ⅲ. ひとの支援の創生)

・ 基本的政策(2) 「教育環境の充実」について

施策の評価及び今後の方針の R3 年度実績で 1 学年を除いて 35 人以下学級が実施できましたとあるが、実施できなかった 1 学年にはアシスタント教員を配置するなどの対応をしているのか。

該当学年は卒業するまではクラスを増やすことなく同じ対応になるのか。

→ (回答) 固定の教員は配置していないが、随時支援員等を配置している。

35 人を大幅に上回ることはないので、そのままの対応。

・ 基本的政策(3) 「ワークライフバランスの実現」について

「子育て教室等に参加した男性の数」目標とする成果指標を大幅に超えている。法改正の影響でさらに男性の育児休業が広まっていくと思うが、今後どのような取組を予定しているのか。

→ (回答) 今後もミニつどいの広場など、いろいろな場所に出向いて行う講座など、よりたくさんの男性に参加いただけるようにしていきたい。

・ どのような講座か簡単に教えて欲しい。

→ (回答) 家庭の中での男性の育児に対するアドバイス含めた内容を行っている。古賀市は男性の育休取得日数非常に多い。市民の皆さんも当たり前に行きましようという取組をしていきたい。

・ 子育て教室に参加した女性の数は。

→ (回答) 子育て中の親子を対象とした事業で、つどいの広場という事業があり R3 年度は男女の別は分からないが、親子で 7,930 人、様々な事業があるのでそれらを合わせると 9,220 人。

・ 基本的政策(1) 「結婚・出産・子育ての切れ目のない支援の充実」について

「保育所待機児童数」について、4 月は 0 人となっているが、年度途中で待機児童が出ている。保育士を 4 月に募集かけるからか。年度途中ではできないか。

→ (回答) 4 月の保育所への申し込みは各保育所に協力いただき、待機児童が出ない

形を守っている。待機児童には、保育所の面積、保育士の人数が大きくかかわってくる。

随時必要な保育士は募集しているが、月を追うごとに保育所への申し込みは増えるので、各保育所には努力してもらっているが、それでも足りない状況がある。市としてもなんとかできるようにと、保育士の確保や施設の改修に協力している。

(基本目標Ⅳ. まちづくり創生)

・基本的政策(1)地域資源を活かした個性あるまちづくりについて

施策の評価及び今後の方針の R2 年度実績、R3 年度実績で 2 極化が見られたと記載がある。新型コロナウイルス感染症の影響で活動を自粛した区と、継続できた区があったということだが、割合はどうだったか。2 極化の要因、背景は。

→ (回答) 行政区の割合に関しては、資料が手元にない。

要因としては、コロナ流行当初は感染力など未確定なことが多かった。みんなで集まっていいのかなど、様々な不安が多かったが、市としても明確に答えられない状況であった。それぞれの自治会で自粛や継続の判断がなされた結果 2 極化が進んだと考えている。

→ (委員意見) コロナ禍という同じ状況下で、活動できた区、できなかった区があったということは、マンパワーや運用していく人材に違いがあったなど今後の参考となる部分があると思う。コロナ禍でも活動を継続できたのは素晴らしいことであり、数値では測れないかもしれないが、実績を示してもよいかもしれない。

(2) 第 5 次総合計画アクションプラン (令和 5~8 年度)

政策・施策ごとの現状と課題の整理

事務局：資料 10、資料 11 に基づき説明

<委員からの質問事項>

(政策 1-1~政策 1-4)

・施策 1-3-2「明るく元気に交流し合うスポーツ活動の促進」の現状と課題について
市のスポーツ施設の予約がオンラインで完結しない。利便性を向上することで、利用頻度が上がると思われるので追記してはどうか。

→ (回答) 10 月頃から新しい施設予約のシステムに変更する予定。併せて支払方法も改善される予定。鍵の貸出し方法は変わらない為、今後の課題として捉えたい。

・施策 1-3-4「郷土愛を育む文化財の保存・活用」の現状と課題⑤について

地域との共働というのは文化財が存在している地域の方か、古賀市全体の方か。

→ (回答) 文化財も全地域にあるわけではないので、文化財の所在がある区の方としっかり連携をとっていきたい。市全域については文化財に少しでも興味を持ってもらい、お手伝いしてもらいたいと思っている。

(政策 2-1~政策 2-4)

・施策 2-1-2「保健の充実と医療連携」の現状と課題⑤について

70代女性の特定健診受診率が県内で低いというデータがあるので、30、40代に加えて追記して欲しい。

→（回答）70代の女性の状況に関しても課題として認識しているので、しっかりと対応できるような施策を考えていきたい。

・施策2-2-1「みんなで支え合う介護予防の推進」の課題⑦について

他の自治体と比べ高齢者全体の運動機能についてよろしくないとのデータがあったので、他の自治体の取組を参考にしてほしい。

→（回答）他の自治体の様々な工夫を勉強させてもらっているところであるが、色々と参考にさせてもらいたい。

（政策4-1～政策4-4）

・施策4-2-1「持続可能な公共交通ネットワークの確立」の課題⑥について

新たな交通サービス（A I オンデマンドバス等）の導入によりと記載があり、運営コストの削減、収支率の改善が期待できると思うが、それを書くことで施策の目標との関連性が明確になり、市民の理解が得られるのではないかと。

→（回答）A I オンデマンドバスは定時定路線のバスに代わる新たな交通サービスということで、市内バス路線には含まれない。A I オンデマンドバスが市内バス路線の収支率の改善にはならないが、公共交通を使いやすくすることで、公共交通を使おうという意識を持ってもらいたい。そうすることでA I オンデマンドバスだけでなく、他のバス路線の利用を働き掛け、収支率の改善につなげていきたい。そういうことを含めてA I オンデマンドバスの導入を進めていきたいと考えている。

・政策4-4「環境の保全と継承」の現状と課題について

古賀市はカーボンニュートラルの宣言をしているので、実現の必要性について記載すべきでは。

→（回答）現在計画を策定中だが、宣言をしていることは事実であるので、そこは追記していきたい。

・施策4-4-4「豊かな恵みを次世代へ引き継ぐ自然環境と生物多様性の保存」の現状と課題について

外来生物の問題が記載されていない。アライグマが市内で徘徊している状況もあるので現状と課題に追記してはどうか

→（回答）アライグマがどの程度いるかなど具体的に把握はできていないこともあるが、今後はアライグマ等の外来生物の駆除等の取組のなかで、箱罠を仕掛け捕獲して、推計ができるようになれば記載していきたい。

・政策4-1～政策4-4について

マイクロプラスチックの文言どこかあるか。

→（回答）具体的な記載はない。

	<p>(政策 5-1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策 5-1-3「市民から信頼される持続可能な行財政運営」の現状と課題③について RPAやAI—OCRといった単語が分かりにくい。括弧書きで説明を加えるなどしてはどうか。 → (回答) 市民の方にとっては耳慣れない言葉かと思うので注釈を加えたい。 ・政策 5-1「基本構想の推進」について これまで人口が社会増だったが、社会減になった要因をどのように分析しているか。 → (回答) 30代、40代の子育て世代が転入、転出をしており、令和2年度までは受け入れられる住宅がそれなりにあった。マンション建設などがなくなり、受け入れる場所が少なくなってきて、転入者が少なくなった。一方で福津市は受け入れる住宅がまだあるので社会増となっている。福岡市からの流入が福津市の方に流れていると分析している。古賀市では大規模な住宅開発やマンション建設はこれから予定がないので、この状況はしばらく続くと考えている。人口動態の分析やどういった取組をしていくべきか、委託事業で取り組む予定である。 ・政策 5-1「基本構想の推進」について 基本構想の中では想定人口6万人とあげており、社会増減をみていくことは必要。社会減が一時的に生じるということは大きな問題とは思わないが、それに応じて現状認識や課題の認識をする必要があると思う → (回答) 一喜一憂毎年する必要はないが、6万人維持すると書いている一方、土地利用の項目で大規模な住宅開発はしないと記載している。20~30年先、必ず人口減が生じるときに禍根を残さないという長期的思考があって、この方針をとっている。これをやりすぎると受け皿を作らないのかという問題が生じる。この10年の中で古賀駅東口の開発で「住」機能を強化する。大規模な住宅開発でなくてもきっちりと受け皿を整えていくという施策をやらないと、人口減少が進んでいくという危機感は市として持つべきと思っている。バランスを長期的思考で持つということをきちんと進めていきたい。
9. その他	事務局：次回の審議会の日程及び説明